

社業の発展を通じ社会に貢献する

2022年3月期 決算説明資料

変革と挑戦 強く価値ある会社へ

西華産業株式会社（東証プライム市場 証券コード8061）

CONTENTS

01

2022年3月期
連結決算概要

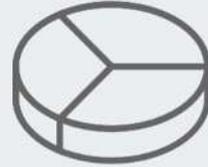
02

2023年3月期
連結業績予想

03

長期経営ビジョン
VIORB2030

★参考資料★



01

2022年3月期 連結決算概要



2022年3月期 連結決算概要

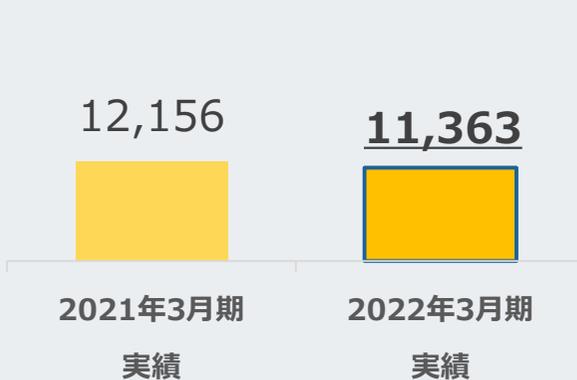
	2022年3月期 期首予想	2022年3月期 実績	増減率
取扱高	130,000 百万円	134,261 百万円	+3.2%
売上高	88,500 百万円	85,307 百万円	△3.7%
営業利益	2,850 百万円	3,824 百万円	+34.2%
経常利益	3,100 百万円	3,879 百万円	+25.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,950 百万円	2,246 百万円	+15.2%
	2022年3月期 予想	2023年3月期 予想	増減
中間配当	25.00 円	35.00円	+10.00 円
期末配当	40.00 円	35.00円	△5.00 円
年間配当	65.00 円	70.00円	+5.00 円



セグメント別事業概要 (売上高)

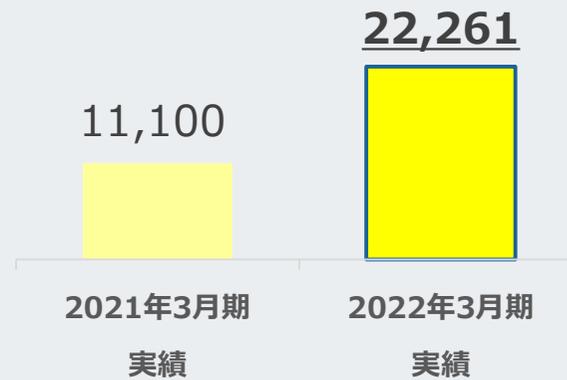
電力事業

(百万円)



化学・エネルギー事業

(百万円)



- ◆ 電力事業
 - ・ 敦賀地区原子力発電所向け安全対策工事等の大型商談売上が寄与
 - ・ 火力発電設備の定期修理や設備更新等の延期の影響により売上減

- ◆ 化学・エネルギー事業
 - ・ 前期より連結子会社化したセイカダイヤエンジン(株)の業績を通期で計上
 - ・ 敷島機器(株)の業績が寄与

産業機械事業

(百万円)



グローバル事業

(百万円)



- ◆ 産業機械事業
 - ・ 飲料会社向け新設バイオマス発電設備の売上が寄与
 - ・ 国内繊維およびエンジニアリング会社向け産業機械等の売上減少が影響

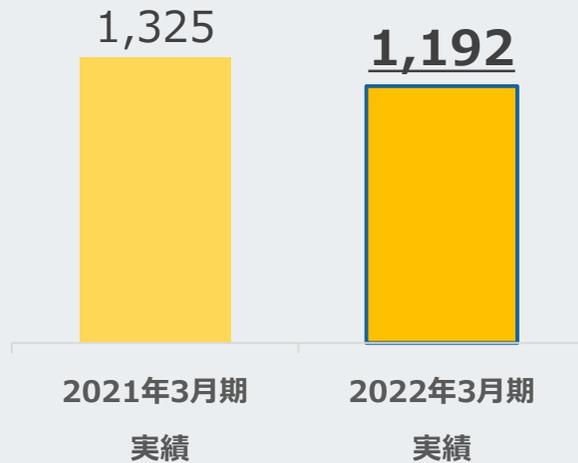
- ◆ グローバル事業
 - ・ 中国向け繊維原料の販売価格上昇



セグメント別事業概要 (セグメント利益)

電力事業

(百万円)



化学・エネルギー事業

(百万円)



- ◆ 電力事業
 - ・ 前期並みに推移
- ◆ 化学・エネルギー事業
 - ・ 前期より連結子会社化したセイカダイヤモンドエンジン(株)の業績が寄与
 - ・ 敷島機器(株)の業績が寄与

産業機械事業

(百万円)



グローバル事業

(百万円)



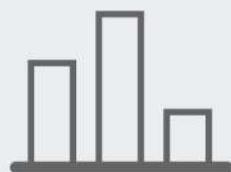
- ◆ 産業機械事業
 - ・ 日本ダイヤバルブ(株)の業績が寄与
 - ・ 中国向け一部取引における費用負担
- ◆ グローバル事業
 - ・ 中国向け繊維原料の販売価格上昇
 - ・ Tsurumi(Europe) GmbHグループの業績が寄与



セグメント別事業概要

(百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	増減額	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	増減額
電力事業	12,156	11,363	△793	1,325	1,192	△133
化学・エネルギー 事業	11,100	22,261	+11,161	84	745	+661
産業機械事業	37,067	35,191	△1,876	1,179	1,143	△36
グローバル事業	11,608	16,490	+4,882	△7	733	+740
合計	71,933	85,307	+13,374	2,581	3,815	+1,234



02

2023年3月期 連結業績予想



2023年3月期 連結業績予想

	2022年3月期 実績		2023年3月期 通期予想		増減率（前期比）
取扱高（注）	134,261	百万円	170,000	百万円	+26.6%
売上高	85,307	百万円	95,000	百万円	+11.4%
営業利益	3,824	百万円	3,700	百万円	△3.3%
経常利益	3,879	百万円	3,700	百万円	△4.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,246	百万円	2,500	百万円	+11.3%

（※1）連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

（※2）「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。

	2022年3月期 予想	2023年3月期 予想	前期比
中間配当	25.00 円	35.00 円	+10.00 円
期末配当	40.00 円	35.00 円	△5.00 円
年間配当	65.00 円	70.00 円	+5.00 円



2023年3月期 セグメント別連結業績予想 (取扱高・売上高・利益)

電力事業

- ・原子力発電所向け防災およびセキュリティー関連設備の売上見込み
- ・前期並みの推移

(百万円)

取扱高

売上高

セグメント利益



(収益認識に関する会計基準等 適用前)

化学・エネルギー事業

- ・セイカダイヤエンジン、敷島機器は堅調に推移
- ・昨年度 千葉にサテライト事務所を開設
- ・化学メーカー向け等、工事案件の増加

(百万円)



(収益認識に関する会計基準等 適用前)



2023年3月期 セグメント別連結業績予想 (取扱高・売上高・利益)

産業機械事業

- ・健康食品メーカー向け製造設備や官公庁向け製本設備の売上が寄与
- ・日本ダイヤバルブの業績が堅調に推移

(百万円)



(収益認識に関する会計基準等 適用前)

グローバル事業

- ・Tsurumi (Europe)グループ 堅調に推移
- ・中国・東南アジアを中心に、新型コロナウイルスの影響大

(百万円)



(収益認識に関する会計基準等 適用前)



2023年3月期 セグメント別連結業績予想

(億円)

	取扱高			売上高			セグメント利益		
	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減額	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減額	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減額
電力事業	395.4	410	+14.6	113.6	150	+36.4	11.9	9	△2.9
化学・エネルギー事業	367.0	700	+333	222.6	240	+17.4	7.4	7	△0.4
産業機械事業	415.2	440	+24.7	351.9	410	+58.1	11.4	15	+3.6
グローバル事業	164.9	150	△14.9	164.9	150	△14.9	7.3	6	△1.3
合計	1,342.6	1,700	+357.4	853.0	950	+97.0	38.1	37	△1.1

「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。



03

長期経営ビジョン

VIORB2030

長期経営ビジョン

VIORB 2030

「地球環境と調和したサステナブルな エネルギー創出・産業活動を支援する」

というパーパス(存在意義)を実践し、豊かな社会の実現に貢献するため、2030年に向けた長期経営ビジョン「VIORB 2030」を策定しました。

《当社の存在意義》

エネルギーおよび産業のインフラ分野に強みを持つ商社を核とする企業グループとして、地球環境と調和したサステナブルなエネルギー創出・産業活動を支援して行きたい。

長期経営ビジョン

VIORB 2030

《事業面での重点分野》

脱炭素

脱炭素のユーザーニーズと技術革新を機敏に捉えビジネス化

省エネ
省資源

省エネ・省資源に関する産業界の恒久ニーズへの支援を拡大

サーキュラー
エコノミー

サーキュラーエコノミーの進展・実現の動きへの対応を強化

DX

デジタルトランスフォーメーションを広義に捉え商機を探求

長期経営ビジョン

VIORB 2030

《経営面での主要施策》

キャッシュマネジメントの仕組みの整備による資金余力の最大化

100億円規模の事業投資による既存事業の深化と事業領域の拡張

SDGsに資する事業や活動を応援するための10億円のファンドを設定

組織スリム化と生産性向上による重点分野への人的リソース投入

グループ各社毎の特性を踏まえた強みを明確にし経営資源を集中

長期経営ビジョン

VIORB 2030

《成果を測るための指標》

2030年度
グリーンイノベーション
関連取扱高

1,200億円

《連結純利益到達目標》

2030年度
連結純利益
到達目標

40億円

ドローンによる点検サービスの拡大 ～省エネ・省資源化への取り組み～



Terra Drone社への出資・国内総代理店契約を締結

タンクや煙突等の**板厚測定**が可能



仮設足場が不要となり

- ✓ コスト削減
- ✓ 作業効率の向上
- ✓ 高所や危険物エリアでの安全性確保

当社の強みである**営業力** × Terra Drone社による**技術力**

電力、鉄鋼、石油、化学等の現場において
プラントや製造設備の「**スマート保安**」を実現



Seika Digital Image

西華デジタルイメージ株式会社



西松建設

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



西華デジタルイメージは西松建設株式会社と共同で、
一般土木工事などに使用される土砂の品質を現場で効率的に管理できる
画像解析技術を用いた**盛土材料品質確認装置**を開発

従来のふるい試験

物性試験

試験施工
(品質・施工確認)

施工

2日以上

本装置による測定



- ✓ 現場で容易に測定可能
- ✓ 幅広い粒度に適用可能
- ✓ 優れた測定精度
- ✓ 優れた可搬性
- ✓ 粒度分布と色彩の測定で
土砂変化を判断

数十分に短縮 (1試料あたり)

将来の予測に関する注意事項：

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先

企画部 Tel : 03-5221-7117

E-mail : SMB076@jp.seika.com



参考資料

2022年3月期

参考資料

1. 会社概要
2. 西華産業の歩み
3. 国内ネットワーク
4. 海外ネットワーク
5. 各事業の紹介
6. 業績の推移
7. 決算概要の推移
8. 経営指標の推移
9. 中期経営計画 Re-SEIKA 2023
10. ESGの取り組み



1. 会社概要

社名	西華産業株式会社（英名：SEIKA CORPORATION）		
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号（新東京ビル3F）		
設立	1947（昭和22）年10月1日		
代表者	代表取締役社長 櫻井 昭彦		
資本金	67億28百万円		
従業員数	977名（連結）317名（単体） 2022年3月末現在		
主な事業内容	各種プラント、機械装置・機器類、環境保全設備、電子情報システム機器類の販売および輸出入		
事業所	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか 海外：台北支店、ソウル支店ほか	全18拠点 全3拠点	
関係会社 拠点	国内：11社 国内拠点：77拠点	海外：16社 海外拠点：26拠点	

本社：丸の内 新東京ビル



2. 西華産業のあゆみ①

1947.10 旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社関係者が門司市（現北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立

1948～1951 日本各地に事務所設立（長崎、福岡、大阪、広島、東京、高松）

1961.10 株式を東京証券取引所第一部に上場

1974.01 ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbH を設立

1983.05 台湾（台北）に台北事務所を開設

1983.11 ドイツに（株）鶴見製作所との合併会社 Tsurumi(Europe)GmbHを設立

1994.04 アメリカ（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY INC.を設立

2000.07 韓国（ソウル）にソウル支店を開設

2001.08 登記上の本店を北九州市小倉北区から東京都千代田区へ移転

2004.01 中国（上海）に現地法人西擘貿易（上海）有限公司を設立

2005.04 日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化



2. 西華産業のあゆみ②

2010.02 株式会社竹本を子会社化



2012.01 シンガポール支店を開設



2012.04 西華デジタルイメージ株式会社を設立



2012.12 タイ（バンコク）に現地法人Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立



2015.05 名南共同エネルギー株式会社を設立



2016.03 敷島機器株式会社を子会社化



2019.01 ベトナム（ホーチミン）に現地法人SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED設立



2019.12 敦賀事務所を開設



2020.10 セイカダイヤエンジン株式会社を設立



3. 国内ネットワーク

●西華産業

本社（東京）、大阪支店、室蘭支店、名古屋支店、四国支店、岡山支店、敦賀支店、福山支店、広島支店、東広島支店、徳山支店、山口支店、福岡支店、北九州支店、大分支店、延岡支店、長崎支店、札幌事務所



●子会社・関連会社

日本ダイヤバルブ

東京（本社）、大阪、名古屋、岡山、北九州

竹本 神戸（本社）、高砂、三原

西華デジタルイメージ 東京

敷島機器

札幌本社 ほか北海道10拠点

セイカダイヤエンジン

東京本社

東北、関東、中部、近畿、九州地区
全国26拠点

東西実業 東京

名南共同エネルギー 知多

青和ポリマー つくば

エステック

東京（本社）、大阪、つくば

テンフィートライト

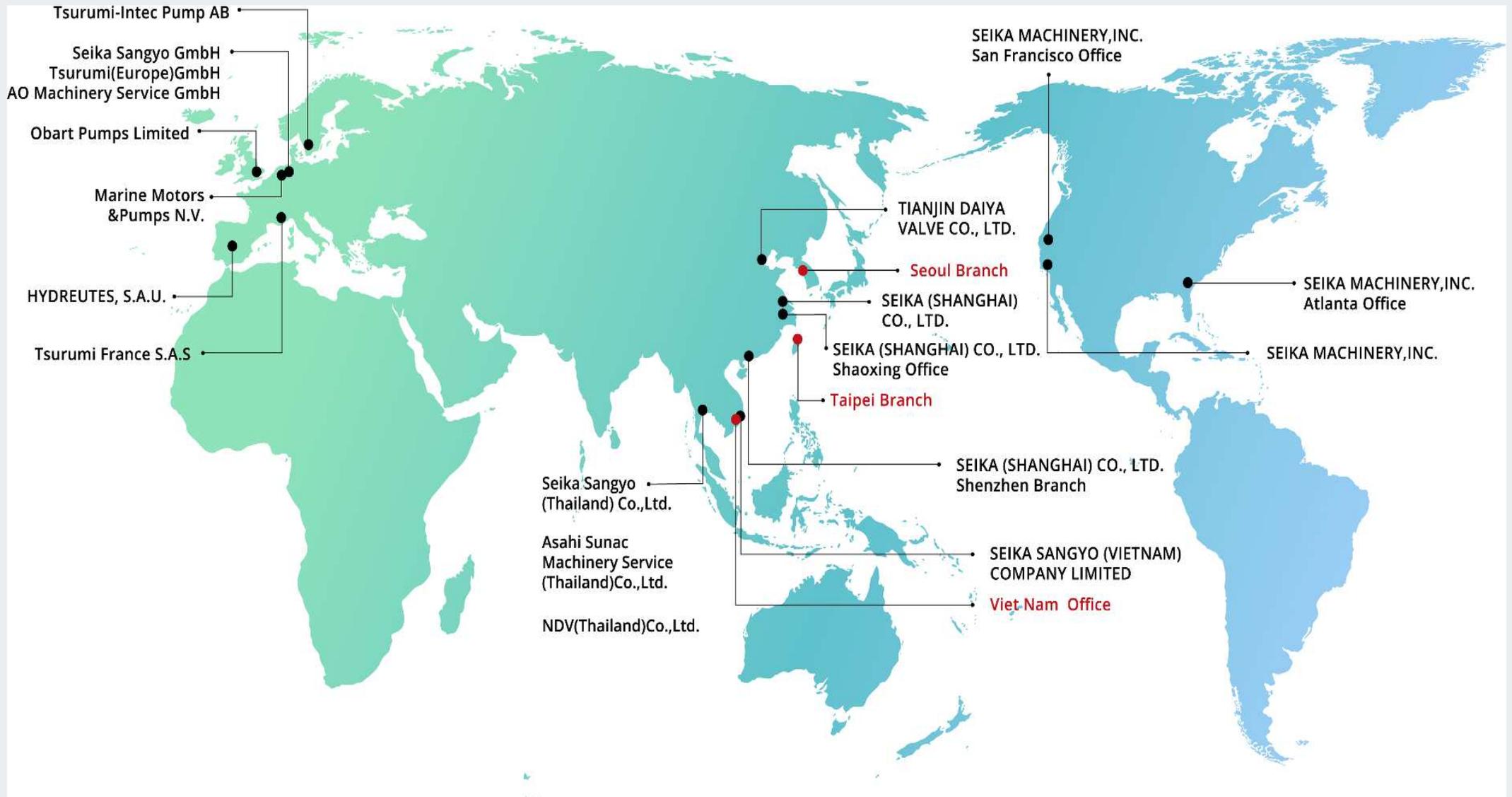
東京（本社）、大阪、高松、福岡

日本エゼクターエンジニアリング

大阪（本社）、和歌山



4. 海外ネットワーク





5. 各事業の紹介（電力事業）

エネルギーは産業界の 最も重要なテーマのひとつ

【事業内容】

- 事業用火力発電所向けボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売およびアフターサービス
- 原子力発電所向け防災・セキュリティ関連設備および各種機器の販売
- 再生可能エネルギー（小型水力、風力、バイオマス等）向け発電設備の販売およびアフターサービス



<発電所>



<発電設備>



5. 各事業の紹介（化学・エネルギー事業）

エネルギーからプロセスに至る 幅広い取扱い商材

【事業内容】

- ・ 石油精製、化学、製紙、製鉄等の事業会社向け発電設備、環境負荷低減商材の販売およびアフターサービス
- ・ バイオマス発電向け設備および燃料の販売
- ・ 船舶用エンジンの販売およびメンテナンス（セイカダイヤエンジン、敷島機器）



<化学プラント>



<環境保全設備>



<バイオマス発電設備向燃料>



5. 各事業の紹介（産業機械事業）

豊かで快適な生活環境を支える 高付加価値製品

【事業内容】

- EV関連、新素材、繊維、フィルム、飲料などの産業分野向け製造設備の販売
- プラント・エンジニアリング会社向け機械設備の販売
- 産業機械向け環境保全用計測装置の販売
- 各種産業用バルブの製造・販売（日本ダイヤバルブ）
- 最先端計測機器およびソフトウェアの販売（西華デジタルイメージ）



<リチウムイオン電池製造ライン等EV関連設備>



<フィルム関連設備>



<レーザー式ガス濃度計>



5. 各事業の紹介（グローバル事業）

【事業内容】

欧州地域

自動車分野 : 車載関係の産業用ロボット販売
 社会インフラ分野 : 公共工事用水中ポンプの販売およびレンタル事業の展開

北米地域

自動車分野 : 主に自動車部品業界向けにエレクトロニクス基板実装関連機器の販売

アジア地域

産業機械分野 : 主に自動車、化学、繊維業界向けに機械設備の販売



Tsurumi (Europe) GmbHグループ
 水中ポンプ



Seika Machinery, Inc.
 自動車部品業界向け
 基板実装関連設備



Seika Sangyo (Thailand) Co.,Ltd.
 自動車・化学・繊維業界向け産業用機械

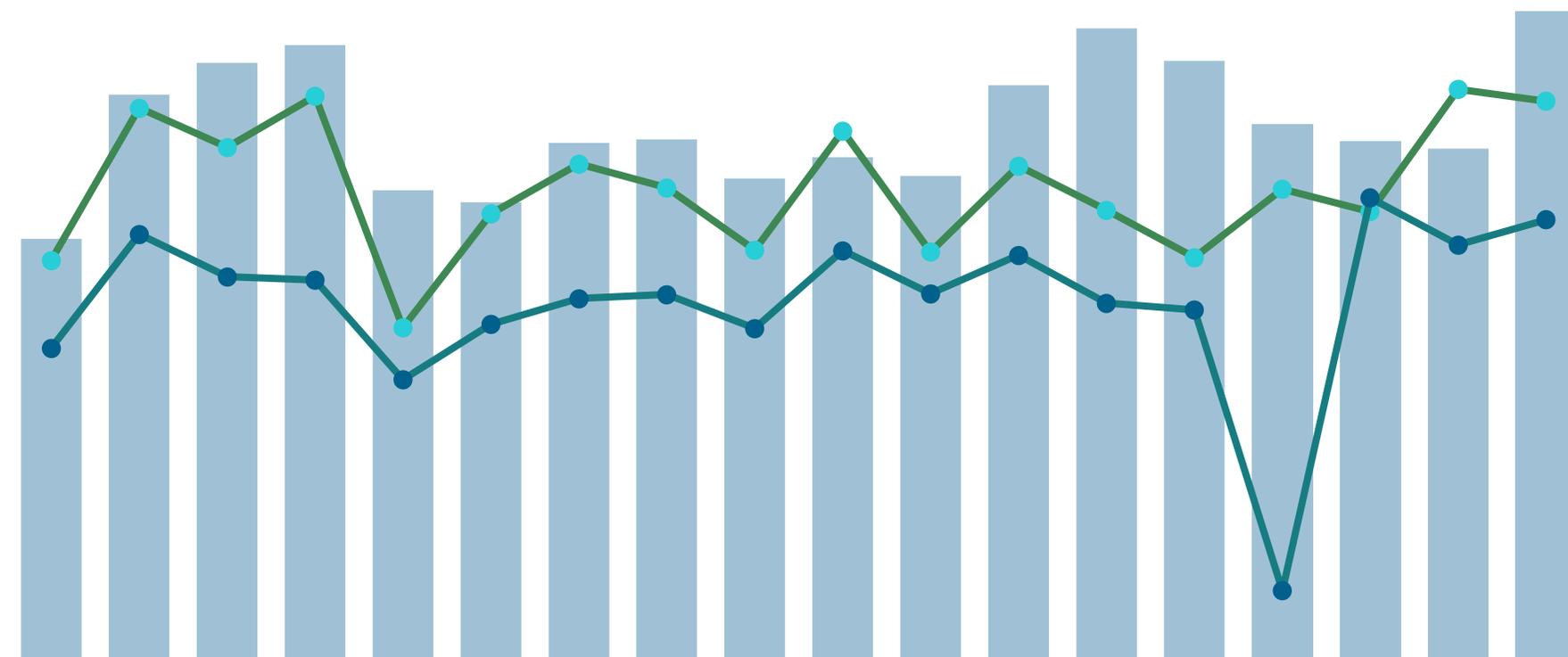


6. 業績の推移（連結 取扱高・営業利益・当期純利益）

連結 取扱高・営業利益・当期純利益の推移

■ 取扱高 ● 営業利益 ● 当期純利益

(単位：百万円)



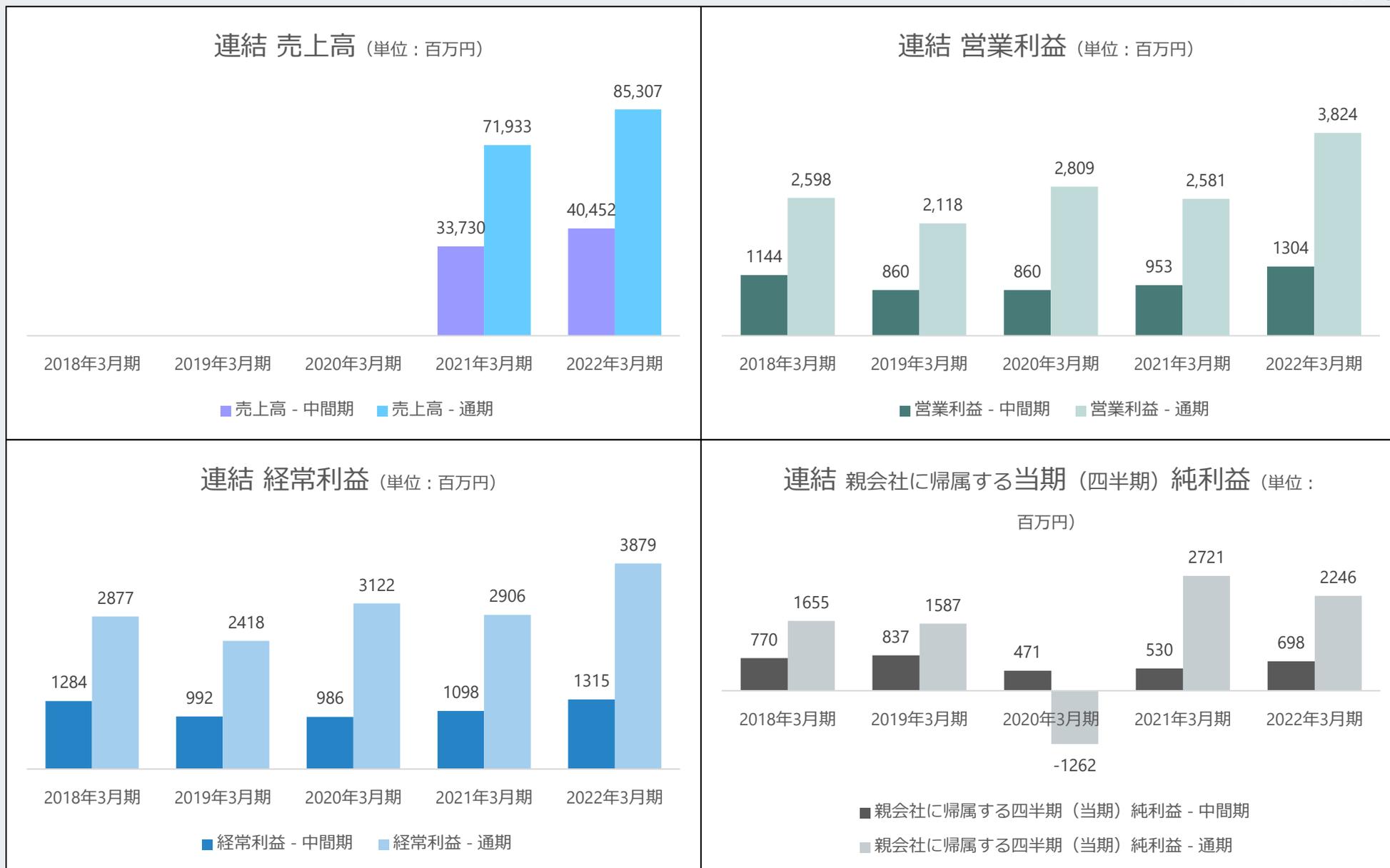
	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3 予想
■ 取扱高	110,727	148,307	156,588	161,261	123,394	120,243	135,717	136,670	126,487	132,033	127,101	150,742	165,585	157,145	140,677	136,273	134,261	170,000
● 営業利益	2,088	3,634	3,234	3,754	1,406	2,561	3,065	2,824	2,193	3,400	2,174	3,046	2,598	2,118	2,809	2,581	3,824	3,700
● 当期純利益	1,198	2,353	1,922	1,889	879	1,441	1,702	1,743	1,399	2,188	1,750	2,140	1,655	1,587	△ 1,262	2,721	2,246	2,500

※「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。



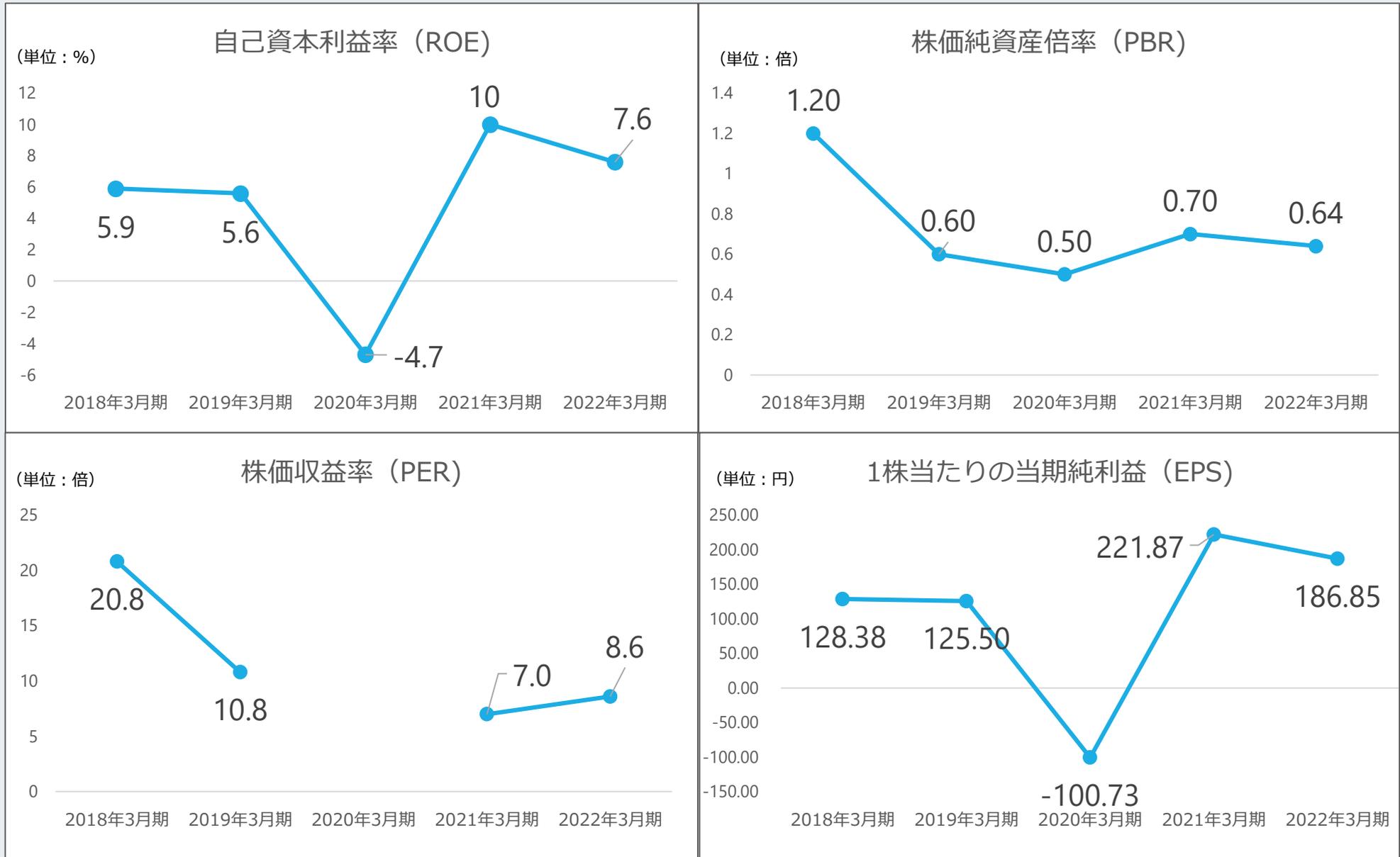
7. 決算概要の推移

(単位：百万円)





8. 経営指標の推移



注) 2020年3月期の株価収益率 (PER) は、当期純損失であったため記載していません。



9. 中期経営計画 Re-SEIKA 2023

変革と挑戦 強く価値ある会社へ

2020年4月~2023年3月

グループポリシー

当社グループとしての結束力やグループ経営を推進していくため、「西華産業グループポリシー」、「グループ行動規範」、「グループミッション」を定め、当社グループに属する各社および、そこで働く社員一人ひとりがこれらを共有し、日々の行動に繋げ、グループ全体で企業価値の向上を目指していきます。



グループポリシー Group Policy

私たち西華産業グループは、お互いが連携し、高め合い、公明正大な企業活動を通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

Strive for excellence and foster a sustainable society with corporate integrity.

グループ行動規範 Code of Conduct

一人ひとりが法令を遵守すると共に社会から信頼されるよう倫理観を持って行動します。

Comply with laws and act with ethical standards to gain the trust of society.

グループミッション Group Mission

グループ全体で豊かな社会を実現します。

Create a fulfilling society together.



長期経営ビジョン

[2017年4月~2027年3月]

長期経営ビジョン 10年後の 西華産業グループ像

事業環境の変化に適応し、強固な経営基盤を有したグローバルな企業グループとなっている。また、グループ社員は開拓精神に燃え、各々の会社で働きがいを感じ、活かに溢れて一人一人が成長を実感している。

長期経営方針

01

ビジネスモデルの変革と進化を進め、さらにグループの収益力を向上させる。

02

時代の変化に対応し、新規事業を創り出せる人材並びに、国内外で活躍できる人材の発掘と育成を行うと共に、経営資源を最適投入する。

03

社員にとって働きがいがあり魅力溢れる職場環境を作り、生産性を向上させる。





長期経営ビジョン

[2017年4月~2027年3月]

事業規模・成長

中期経営計画の位置づけ

【第1ステップ】
事業規模拡大への
基礎固め

第1ステップ
CS2020

【第2ステップ】
新たな取り組みが
収益に寄与し始める

第2ステップ
Re-SEIKA2023

【第3ステップ】
事業規模拡大し、
成長が加速

第3ステップ



Re-SEIKA 2023 変革と挑戦 強く価値ある会社へ

1

グループ収益の拡大

西華産業単体の各事業とグループ各社を事業内容毎に「事業ユニット」としてグルーピングし、一体化した事業運営を図る。

2

収益基盤の強化

各事業を基礎収益分野と成長収益分野とに区分する。事業ポートフォリオの最適化を進め、経営資源の効率的な投入を適宜実施、推進する。

3

新たな収益源の開拓

新たな収益源の開拓のため継続的に経営資源を投入する。
そして、当社グループの持続的な成長基盤構築を促進する。

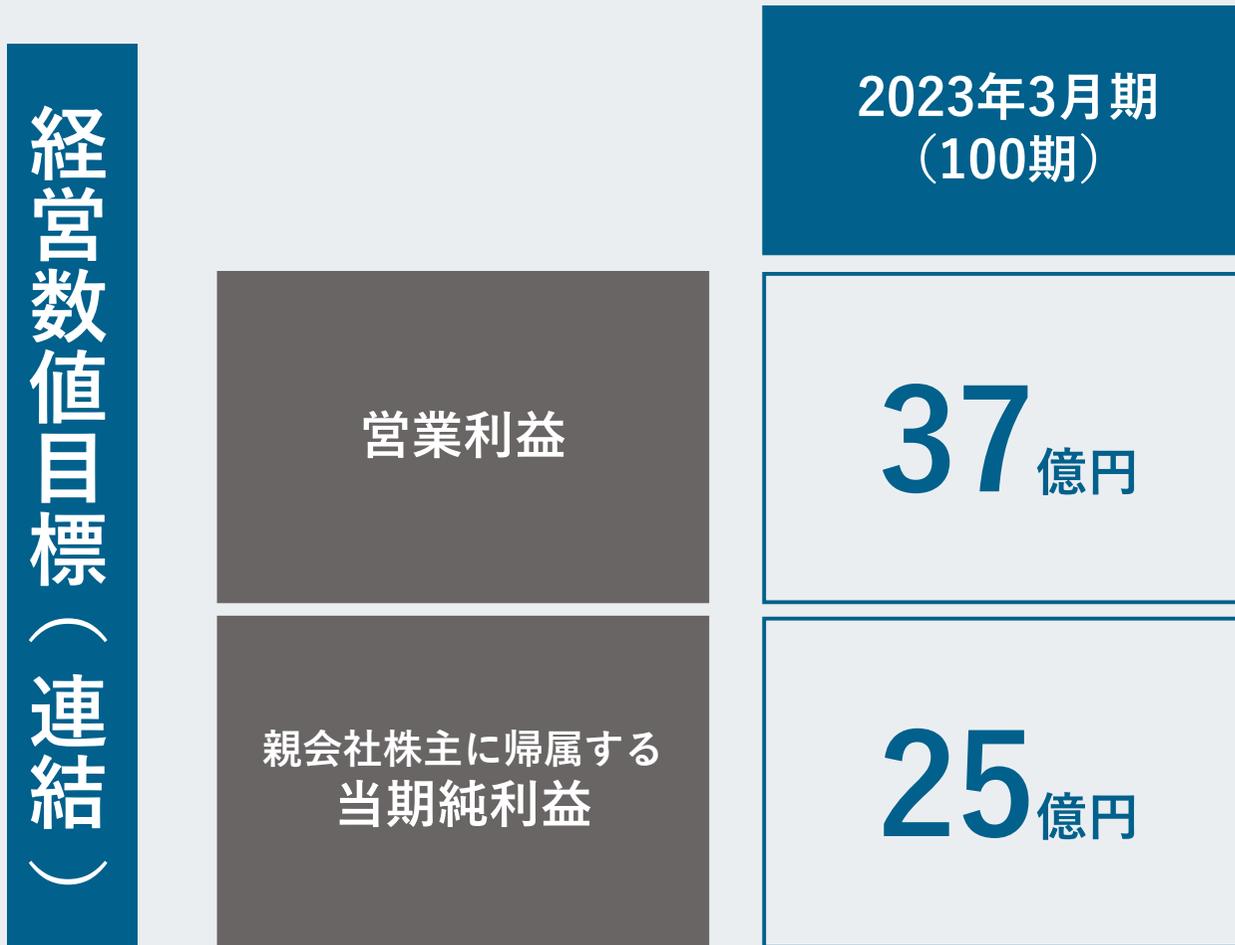
4

経営基盤の強化

財務体質の安定化を図る。IT化・DX推進等による業務の効率化、職場環境の充実、人材育成などにより、組織力を強化する。



中期経営計画 Re-SEIKA 2023 数値目標



(ご参考) 2023年3月期の経営数値目標であります親会社株主に帰属する当期純利益25億円を達成するとROEは8%以上となります。



10. ESGの取り組み

ESG

Environment グリーンイノベーション関連商材の提供

2022年3月期 環境配慮型商品 取扱実績	取扱件数	取扱高
省エネ・省資源・高効率化	11,931件	774億円
公害防止	992件	60億円
リサイクル・リユース	422件	9億円
合計	13,345件	843億円



Social 社会責任（働き方改革）

女性の活躍推進 従業員の健康促進	女性総合職採用の強化 女性社員のキャリア形成支援 女性管理職の登用 プレミアムフライデー制度 有給休暇の取得推進 インフルエンザ予防接種費用の会社負担
人材育成の取り組み コロナ禍の取り組み	各種階層別研修 海外研修派遣制度 在宅勤務の推奨 社員への持ち出し用PC支給 ペーパーレス化等



Governance ガバナンス

コーポレートガバナンス・コードに基づいた施策を実施

- ・取締役会の実効性評価（外部機関）
- ・指名審査委員会、報酬審査委員会の設置
- ・社外取締役（計3名、社外取締役比率：取締役会の1/3以上）
- ・英語での情報提供（招集通知の一部、決算説明会資料、FACT BOOK）

